

第5回名立区地域協議会 次第

日時：平成30年8月23日（木）午後6時30分から

場所：名立区総合事務所 2階第2会議室

1 開 会

2 検討事項

平成30年度視察研修について...資料 1、2

3 その他事項

(1) 平成30年度第6回地域協議会の開催予定

・平成30年 月 日()午後 時 分から

4 閉 会

| 地域協議会名 | 実施状況 | 実施日(予定) | 研修先(予定) (例:NPO法人 (市)) | 研修内容(予定) | 参加委員人数 | 事務局参加人数 | 視察の成果(委員の感想等) | その他特記事項 | 事業費計(円) | | 報償費 | | 費用弁償(地域協議会と同時開催の場合は、研修分から支出) | | 旅費 | | 消耗品費(委員研修消耗品としての計上分を執行可能) | | 有料道路使用料 | | 執行内容 | |
|------------|----------|-----------------|--|---|--------|---------|--|------------------------------|---------|--------|-------|-------|------------------------------|--------|-------|-----|---------------------------|-------|---------|--------|--|--------|
| | | | | | | | | | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | | |
| 高田地域協議会 | 実施済 | 10月2日 | 水戸の川排水機場-水戸の川-高田公園北堀・西堀・南堀 | 高田地域協議会が自主的審議に係る提案「高田公園周辺の雨水排水対策」について審議するため、現地を視察し現状を把握するもの。 | 11 | 2 | 排水機場の設備はすばらしいものだった。その操作を請け負っている町内会の皆さんは非常に苦労されていると思った。水戸の川は図面のとおり住宅地を大回りしていた。広い所と狭い所があることを現地で確認できた。その解消が必要なのが確認できた。 | | 36,920 | 13,200 | 3,000 | | 24,000 | 13,200 | 2,200 | | | 0 | | 7,720 | | 委員費用弁償 |
| 新道地域協議会 | 実施済 | 11月17日 | 新道区管内 | ・これまでの地域活動支援事業(H26-H28)の実施、施工箇所を巡回 ・H29年度提案分において、不採択となった事業の現場検証 | 12 | 2 | (委員の感想) ・過去の備品等の要否についても協議会が判断し、提案者に助言できたらいい。 ・提案された事業は事前の調査と内容確認が大切だと感じた。 ・ヒアリング時には、提案者に否定的な考えを言うのではなく、必要性や将来性を質問し、もっと創造力のある地域にしていくべきだ。 | | 29,720 | 14,400 | 3,000 | 0 | 16,800 | 14,400 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | 委員の費用弁償(1,200円×12人=14,400円) | |
| 金谷地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 32,120 | 0 | 3,000 | | 19,200 | | 2,200 | | | 0 | 7,720 | | | |
| 春日地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 36,920 | 0 | 3,000 | | 24,000 | | 2,200 | | | 0 | 7,720 | | | |
| 諏訪地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 27,320 | 0 | 3,000 | | 14,400 | | 2,200 | | | 0 | 7,720 | | | |
| 津南区地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 29,720 | 0 | 3,000 | | 16,800 | | 2,200 | | | 0 | 7,720 | | | |
| 三郷地域協議会 | 実施済 | 4月25日(火) | すこやかサロン三郷(会場:三郷地区公民館) | 自主的審議事項「三郷区における高齢者支援の取組について」の参考とするため、「すこやかサロン三郷」の実際の様子を見学するほか、サロンの参加者や「Aえちこ」の担当者との意見交換を行う。 | 10 | 2 | (委員の感想) ・健康体操を体験し、非常にいいことだと思った。 ・周知不足が課題である。 ・会場である三郷地区公民館には、老朽化などの問題がある。 ・会場から遠い方の移動手段が課題である。 | 共生まちづくり課職員2名同行 | 27,320 | 12,000 | 3,000 | 0 | 14,400 | 12,000 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | | |
| 和田地域協議会 | 実施済 | 8月3日(木) | ゆきだるま財団(安塚区) | 和田地域協議会が「雪を生かした地域づくりの推進」について自主的審議するにあたり、雪利用の先進的な取組を視察研修し、今後の審議に生かすために、伊藤親臣チーフスノーマンの講話、雪室貯蔵庫見学、雪冷房体験を行った。 | 9 | 2 | 雪利用先進地における取組を視察し、和田地区において取り組む際の参考になった。 | | 29,720 | 16,300 | 3,000 | | 16,800 | 10,800 | 2,200 | 0 | 0 | 5,500 | 7,720 | 0 | 消耗品は資料代(ひとり500円)、左記の他に、手数料(視察受入代)3,000円執行。 | |
| 和田地域協議会 | 実施済 | 3月1日 | 高土雪まつり実行委員会(高土区) | 和田地域協議会が「雪を生かした地域づくりの推進」について自主的審議するにあたり、雪を利用した先進的なイベントの取組状況を視察研修し、今後の審議に生かすもの。なお、正副会長が代表して視察した。 | 2 | 2 | 実行委員会が若い世代(子育て世代)により構成されていることなどから、和田区において推進にイベント開催を急ぐより、もう一つの自主的審議事項である組織や人材育成と合わせて検討を進めることが必要。 | | | 3,858 | 3,000 | 1,458 | 16,800 | 2,400 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | 報償費(みやげ)1,458円、費用弁償2,400円 | |
| 高土地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 27,320 | 0 | 3,000 | | 14,400 | | 2,200 | | | 0 | 7,720 | | | |
| 直江津地域協議会 | 実施済 | 7月7日(金) | 富岡市観光おもてなし課 富岡商工会議所 富岡商店街連合会 スマイル富岡(群馬県富岡市) | 世界遺産富岡製糸場を活かした観光客受入の取組について内容説明を受けたほか、駅周辺から商店街にかけて観光客を迎え入れるための施設整備や街中の回遊性、まちづくりのための施設等を視察した。 | 13 | 1 | ・まずは住んでいる人の生活が充実することが大切であり、それが観光客誘致にも繋がると改めてまちづくり構想の目的と通じるものがあった。 ・やはり新水族博物館を核として、周辺のまちの人が一丸になって盛り上げていく必要があると改めて感じた。 | | 34,520 | 31,430 | 3,000 | 4,320 | 21,600 | 15,600 | 2,200 | 550 | 0 | 0 | 7,720 | 10,960 | 手数料として、見学科13,000円、駐車場代金2,000円、解説料3,500円を支払う。 | |
| 有田地域協議会 | 実施済 | 2月22日(木)、23日(金) | 有田小学校 | 平成30年4月開校予定の「有田小学校」の校舎が完成したことから、教育委員会実施の校舎内覧会に合わせて、見学を行い、地元の小学校の認識を深めた。 | 14 | 4 | 校舎を見学し、現在の小学校に必要な整備を学ぶことができ、委員の地元小学校に対する認識を深められた。 | | 32,120 | 16,800 | 3,000 | 0 | 19,200 | 16,800 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | | |
| 八千浦地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 27,320 | 0 | 3,000 | 0 | 14,400 | 0 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | | |
| 保倉地域協議会 | 実施済 | 8月3日(木) | 保倉区内 | 過去に保倉区で地域活動支援事業費補助金を活用して実施した事業について、現地に赴き確認した。 | 10 | 2 | 今後、委員が協議会審議や地域活動支援事業の審査をするにあたっての知識・理解を深められた。 | | 27,320 | 12,000 | 3,000 | 0 | 14,400 | 12,000 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | | |
| 保倉地域協議会 | 実施済 | 11月27日(月) | 上越市クリーンセンター | これまで工事の進捗状況等報告を受けてきた上越市クリーンセンター(新クリーンセンター)が完成したことから、施設見学を行い、地元の施設としての認識を深めた。 | 9 | 2 | 施設を見学し、施設担当者から説明を受けた。施設の概要やごみ処理の流れ、設備等を確認したことで委員の施設に対する認識が深められた。 | | 27,320 | 0 | 3,000 | 0 | 14,400 | 0 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | 同日に地域協議会を開催。視察研修の参加委員は9人であったが、地域協議会は10人参加のため、「地域協議会の開催」から一括10人分の費用弁償を支出。 | |
| 北諏訪地域協議会 | 実施済 | 11月15日(水) | 上越市クリーンセンター | これまで工事の進捗状況等報告を受けてきた上越市クリーンセンター(新クリーンセンター)が完成したことから、施設見学を行い、地元の施設としての認識を深めた。 | 7 | 2 | 施設を見学し、施設担当者から説明を受けた。施設の概要やごみ処理の流れ、設備等を確認したことで委員の施設に対する認識が深められた。 | | 27,320 | 0 | 3,000 | 0 | 14,400 | 0 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | 同日に地域協議会を開催。視察研修の参加委員は7人であったが、地域協議会は8人参加のため、「地域協議会の開催」から一括8人分の費用弁償を支出。 | |
| 谷浜・桑取地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 27,320 | 0 | 3,000 | 0 | 14,400 | 0 | 2,200 | 0 | 0 | 0 | 7,720 | 0 | | |
| 安塚地域協議会 | 実施済 | 11月6日 | NPO雪のふるさと安塚 安塚観光協会 行野自治会 細野町内会 朴の木自治会 安塚町内会 | 地域活動支援事業(安塚区)採択事業の現状を確認し、審査する上での課題等を整理する。 | 11 | 3 | 備品等の購入を伴う事業については、審査時にその備品等が本当に必要か疑問に思ったことがあったが、今回視察した団体については、有効活用されている。実際に地域に赴き、現場を確認することで、各団体が当制度を活用して地域を盛り立てようとしている姿を見ることができた。 | | 28,400 | 0 | 3,000 | 0 | 14,400 | 0 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 8,000 | 0 | 同日に町内会長・自治会長との意見交換会を開催。視察研修の参加委員は11人であったが、意見交換会は12人全員参加のため、「地域協議会の開催」から一括12人分の費用弁償を支出。 | |
| 浦川原地域協議会 | 実施済 | 11月13日 | ・新クリーンセンター ・オーレンプラザ ・陸上競技場 | 市内において、新規に整備・改修した施設を視察し、情報収集を行うとともに、委員としての見識をさらに深めることを目的として実施する。(浦川原区町内会長連絡協議会との合同研修) | 4 | 2 | 施設を見学し担当者から説明を受けた。各種施設の概要を知ることにより、委員の見識をさらに深める機会となった。 | | 28,400 | 4,800 | 3,000 | 0 | 14,400 | 4,800 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 8,000 | 0 | ・委員費用弁償 4,800円(1,200円×4人) | |
| 大島地域協議会 | 実施済 | 9月1日(金) | ・㈱A・ファーム雪の十日町 ・特定非営利活動法人ECOPPLUS | ・㈱A・ファーム雪の十日町 ・6次産業に向けた取組や農家レストランの経営手法や地域の協力体制について学ぶ ・特定非営利活動法人ECOPPLUS ・自然、異文化、地域社会をテーマとした体験や学びを重視し、「本当の豊かさを求めて、活動する法人の取組」を学ぶ | 9 | 6 | ・㈱A・ファーム雪の十日町 ・十日町市初の6次産業化認定企業である㈱A・ファーム 雪の十日町の社長と専務から会社設立に至る経緯、設立後の取り組み、農家レストランの運営状況等を説明を受けた。その熱い思いに感銘を受けた。 ・若い人が働ける職場を作ること、若い人の発想を活かすことが大切だと感じた。 ・特定非営利活動法人ECOPPLUS ・特定非営利活動法人ECOPPLUSは南魚沼市全体の農山村を活動範囲とし、いくつかの集落と共に様々な取り組みを行っている。その取り組みの一つである清水地区での取り組みを視察した。 ・地区の委員長から活動や交流を通して集落が一つにまとまるようになったと聞き、自然を維持する活動、自然を活かした生活・文化の大切さを改めて実感した。 ・活動は無理をせず、できることを行い、外部の力は歓迎するが頼らないことが大切だと感じた。 | 所長、次長、市・福G長、事務局2名、集落づくり推進員1名 | 28,400 | 13,748 | 3,000 | 2,948 | 14,400 | 10,800 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 8,000 | 0 | 視察研修受入先 土産代 2,948円(1,474円×2か所) ・委員費用弁償 10,800円(1,200円×9人) | |

| 地域協議会名 | 実施状況 | 実施日(予定) | 研修先(予定)(例:NPO法人(市)) | 研修内容(予定) | 参加委員人数 | 事務局参加人数 | 視察の成果(委員の感想等) | その他特記事項 | 事業費計(円) | | 報償費 | | 費用弁償(地域協議会と同時開催の場合は、研修分から支出) | | 旅費 | | 消耗品費(委員研修消耗品としての計上分を執行可能) | | 有料道路使用料 | | 執行内容 |
|----------|----------|-----------|--|--|--------|---------|---|--|---------|--------|-------|-------|------------------------------|--------|-------|-------|---------------------------|--------|---------|---|---|
| | | | | | | | | | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | 予算額 | 執行額 | |
| 牧区地域協議会 | 実施済 | 7月27日(木) | ・地元の危険箇所(午前) ・池谷集落(午後) | ・危険箇所の把握 ・少子高齢化が進んだ地域が集落を維持していくためにどのような方策をとったのか、また、今後の課題について研修する。 | 9 | 3 | ・危険箇所 避難場所、特に集落の避難場所の安全性の問題や交通路の確保の点検が必要と思う。地域住民への危険箇所の周知徹底が必要と思う。 近年の災害はいつ、どこでおきてみおかしくない、危険箇所を知る事で少しでも減ればと思う。 ・池谷集落 若い人を意識づけるために、集まり話し合せ、興味を持つことを引き出すことが必要。 Uターン、よそから来た人、一度外を見てきた人が価値に気がきりリーダーとなる。 年配者は若者の支援者となるべき、若者が手助けを求めたら受ける、若者中心にしていく。 世代交代の時期、タイミングの重要性、若者がいるうちに。 | 事務局2名、集落づくり推進員1名 | 45,400 | 11,800 | 3,000 | | 14,400 | 10,800 | 3,000 | | 17,000 | 1,000 | 8,000 | | ・視察手数料として30,000円を支払う。 ・資料代(研修会当日の説明資料をデータとして購入) |
| 柿崎地域協議会 | 実施済 | 11月22日(水) | ・餅地域交流センター企画 ・富山事務所(富山県射水市) | ・空き家の活用や移住定住の取組について、餅地域交流センター企画代表 明石博之さんからお話を伺い、施設を案内していただいた。 | 10 | | ・空き家の活用や人口減少、若者がいない等の課題について、先進的な取組事例を見て、課題解決のスキルアップを図ることができた。 ・講師は、空き家は資産だと思い、地方でまちの主体者になりたいという気持ちで移住した。そして、1人から輪が広がり、周りに伝わって、まちづくりのソーシャルデザイナーになった。とても理想的な形だと思った。 ・まちを元気にする秘訣は「ワクワクする気持ち」という講師の言葉が印象的で、まさに楽しんで取り組んでいると感じた。 | 事務局2名、地域おこし協力隊1名 | 33,200 | 22,300 | 3,000 | 0 | 19,200 | 12,000 | 3,000 | 1,100 | 0 | 8,000 | 9,200 | ・視察研修手数料 54,000円 ・委員費用弁償 12,000円(1,200円×10人) ・旅費 1100円(550円×2人) 地域おこし協力隊は別予算から支出 ・高速道路使用料 9,200円 | |
| 大潟地域協議会 | 実施済 | 3月8日(木) | ・オーレンプラザ ・新クリーンセンター ・有田小学校 | 地域協議会内で協議するための基礎的な事柄等について理解を深めるとともに、地域の課題解決に向けた取り組みの一助とするために実施する。 | 11 | 3 | ・施設を見学し担当者から説明を受けた、各種施設の概要を知ることにより、委員の見識をさらに深める機会となった。 ・施設と新しい施設であるが、特に有田小学校は春日新田小の一部と小猿屋小の統合による児童数の増加を踏まえ、木材も多用し、子供たちが伸び伸びと学習できる素晴らしい環境が整えられていると感じた。 | 次長、事務局2名 | 33,200 | 13,200 | 3,000 | 0 | 19,200 | 13,200 | 3,000 | 0 | 0 | 8,000 | 0 | ・委員費用弁償 13,200円(1,200円×11人) | |
| 頸城区地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 33,200 | 0 | 3,000 | | 19,200 | | 3,000 | | 0 | 8,000 | | | |
| 吉川地域協議会 | 実施済 | 11月14日(火) | ・新潟県立吉川高等特別支援学校(吉川区原之町) ・十日町市(地域おこし協力隊等) | ・吉川区「出張」地域協議会で市民から出された課題である、「新潟県立吉川高等特別支援学校の支援と協力体制の整備」について検討するため、情報収集を行うもの。 ・地域おこし協力隊の活動において、県内でも先進的な取り組みを行い、トップレベルの動員、定住実績を持つ十日町市の施策を視察し、さらに実際に施策を導入した集落に伺い、キーマンや関係者と懇談することで、今後の吉川区での施策検討の材料とする。 | 10 | 2 | ・高等特別支援学校で、井部校長先生と話をした。学校なので、休日はイベントなどは開けない。買い物難民の関係でアクセスが良くなったから、こちらにお立ち寄りをお願いする方法ではないかと提案した。校長先生は、この施設はエレベーターが付けられない、付けたら5千万円位かかる、とのことだった。地域の中で交流施設といつか、これから子どもさんたちが社会に旅立とうとするときに、いろいろな人達の意見や立ち居振る舞いに触れることは、すごく大事なことだと思ふ。地域のお年寄りにとっては、若い子供たちが頑張っている姿を見る事で、元気を頂けると思う。ネックはエレベーターが付けられない、という話だったので、機会があったら、将来的な交流を含め、エレベーターを付けていたどうか方策があれば、考えていただきたいと思った。 ・今日、(高等特別支援学校)のカフェで、最後会計が終わった後に、割りばしやポチ袋など販売していた。元協力隊の石川さんと話をしたが、こういうものがあるのなら、あそこも募金を募っており、運営は厳しいというの、学校の運営委員会に参加しているの理解している。そういうものをもっと販売したらどうかと、原之町のYショップでコーナーを設けて、という話をしたが、校長先生、教頭先生に話しを聞くと、数がそんなに作れないそうです。なので、協力いただいた方へのお礼や、カフェの販売でいっぱいはいっぱい、という話だった。トイレもウォッシュレットは付いていないそう。洋式にはなっているが、県立なので予算もないので、いろいろ要望はいっぱいあると思う。機会があればカフェに行って、募金も受け付けている。そこで支援をしていただきたい。 ・地元にある学校を見せていただき、名前は知っているが、実状はなかなか理解できない。視察で理解させてもらったのは成果があった。地域おこし協力隊も、地域地域でいろいろな事情があることも共有できた。今日の経験を活かし、地域協議会に反映させていただきたい。 | この他、集落づくり推進員、元地域おこし協力隊員、現地域おこし協力隊員が同行。 | 106,000 | 61,841 | 8,000 | 8,000 | 68,000 | 36,000 | 3,000 | 0 | 19,000 | 17,841 | 8,000 | 0 | ・NPO法人地域おこし(十日町市)に、視察手数料として10,000円を支払う。 ・元上越市地域おこし協力隊 石川盛和氏に、アドバイザー謝金として5,000円を支払う。 ・委員費用弁償は、同日、第7回吉川区地域協議会開催のため、会議開催の予算から支出。 |
| 中郷地域協議会 | 実施済 | 11月1日(水) | 長岡市 ・さいわいプラザ ・子育ての駅くんくん ・十日町市 ・ギルドハウス十日町 | 子育て支援をテーマに長岡市の取り組み状況と関連施設を視察 定住・移住をテーマに十日町市の施設を視察 | 8 | 3 | ・長岡市では合併特例債と震災の教訓を取り入れた「子育ての駅」、一方、十日町市では空き家を利用した「コンセプトシェアハウス」と言う考え方についてそれぞれ研修させていただいた。両テーマ共に「今、何が求められているのか」を考えさせられた。また「子育ての駅くんくん」の帰路、バスに手を振ってくれた2歳位の女の子の笑顔と、「ギルドハウス」主人西村さんが「ここに移住を決めたのは、大家さんの人柄です。」と言われた事がとても印象に残る有意義な一日であった。 ・「子育ての駅くんくん」の視察では、乳幼児の元気な声の中に父親と一緒に遊んでいる子供の姿が印象的だった。又、合併後の地域版「子育ての駅」についても市の担当者より説明をしていただいたが、これは各地域の子育て支援の機能強化として、保育園等との併設した施設等で親子サークルや高齢者など多世代が集う交流の場として活用しているとのこと、中郷区の子育て環境づくりの参考になると思われる。 ・今回訪れた「子育ての駅くんくん」を始め、合併した周辺地域ごとに「地域版子育ての駅」もあり、長岡市の手厚い子育て支援の様子を知ることができた。ここに至るまでの財源、人材確保のプロセス、行政機構の整備等について市の担当者から説明を聞き、少子高齢化や人口減少等同じ問題を抱え、どうまちづくりに取組み、私たちはどんな提言をできるのか考えさせられた研修となった。 ・ギルドハウスは、住まいを積極的に開放する「住み開き」によって、「まちづくりに携わりたい」、「多拠点居住として利用したい」など多様なニーズに応えるものになっていた。このようなコンセプトから、今現在10名を超える若者が暮らしている。限界集落に近いこの地で周辺の遊休農地の耕作にも取組み、地域の方々との交流も積極的に進めている様子が見えた。単なるシェアハウスではない新しい住居を目指しており、大変参考になった。 | | 28,400 | 17,272 | 3,000 | 2,932 | 14,400 | 9,600 | 3,000 | 1,650 | 0 | 0 | 8,000 | 3,090 | |
| 板倉地域協議会 | 実施済 | 10月20日(金) | 新クリーンセンター、板倉区内 | ・新クリーンセンターの確認 ・板倉区内の新たな観光資源(世界かんがい施設遺産上江用水路、国有形登録文化財鶴井邸)の確認 | 12 | 4 | ・地元においてもなかなか見ることができない貴重な場所ばかりで勉強になり、とても良かった。今回の研修は大変参考になった。 ・昼食は見た目がとても良(豪華)に感じたが、食べたときに、水のためか、香辛料のせい、少し感じのよい匂いが鼻についた。 ・田屋集落の神社の説明は今まで一度も聞いた事が無く、興味深かった。来年は戊年であり、どの様な報道があるかにも興味があった。 | 所長、総務・地域振興G長、地域振興班長、担当1名 | 30,800 | 14,400 | 3,000 | 0 | 16,800 | 14,400 | 3,000 | 0 | 0 | 8,000 | 0 | ・委員費用弁償(1,200円×12人) | |
| 清里地域協議会 | 実施済 | 7月28日(金) | ・十日町市役所 ・(株)あいポート仙田 ・竹所シェアハウス ・竹所イエローハウス | ・十日町市における高齢者支援事業の取組について(たっしゅ100事業・スマイルポイント事業) ・仙田地区における地区マネージメント法人として取組について(株)あいポート仙田) ・竹所地区における移住・定住促進事業の取組について(竹所シェアハウス、イエローハウス) | 10 | 3 | ・災害時において、要支援者への避難指示等の具体的な連絡手段を確立しておくことが必要だ。 ・(株)あいポート仙田は地域に根付いており、過疎地域においては有効な取組だと思う。 ・古民家、空き家の再生については、清里区においても参考となるのではないかと。 ・中山間地域でのシェアハウスの設置を移住、定住促進の意味において取組むことが必要ではないかと。 ・竹所集落に移住している人達の雪に対する価値観の違いを感じ、移住者を受け入れる側の意識を押し付けられないことが必要だと感じた。 | 市民生活・福祉G職員2名、集落づくり推進員1名、事務局3名 | 28,400 | 14,916 | 3,000 | 2,916 | 14,400 | 12,000 | 3,000 | 0 | 0 | 8,000 | 0 | ・(株)あいポート仙田視察料10,000円(手数料) ・視察地土産代2,916円(報償費) | |
| 三和区地域協議会 | 未実施(計画済) | | | | | | | | 30,800 | 0 | 3,000 | 0 | 16,800 | 0 | 3,000 | 0 | 0 | 8,000 | 0 | | |
| 名立区地域協議会 | 実施済 | 11月29日(水) | ・大島区 ・(大島区総合事務所及び大島区内施設見学・あさひ荘、庄屋の家) | ・当区と地理的状況や人口規模、中山間地の農業形態が類似した地域であるほか、現在休館している大山温泉「あさひ荘」は当区の温泉施設「るばた館」の利用形態とも類似している。また、大島区地域協議会では、自主的審議事項で「少子化対策」に取り組んでいるとのこと、同じように「少子化対策・人口減少対策」を自主的審議とすべく検討している当地域協議会と意見交換を行うことで、今後の取組方法を探るとともに、両地域協議会同士の連携にも繋げていくことを目的に行う。 | 10 | 5 | ・あさひ荘の休館の経緯について、報道等外部からの話では知り得ない地域の事情も詳しく聞くことができた。 ・少子高齢化対策として、買い物弱者世帯を支えるための移動販売事業の取組などを知ることができた。当区でも少子高齢化対策に向けてUターン移住促進や、子どもや若者の定住促進について取り組んでいかなければならないと考えさせられた。 ・市では公の施設の在り方が抜本的に見直され、大島区あさひ荘のように休止となったケースが出てきているが、当区のうちばた館も経営状況を踏まえ、住民主体の取組が不可欠との観点から、地域協議会としてどのようにこの課題に向き合うかの参考とするため、研修に参加した。 ・当協議会としては、るばた館の現状や地域全体の意向などを的確に把握することに努めるとともに、自主的審議事項として位置付け、将来的な論議整理を行い、関係団体との連携や地域一体となった具体的な取組を進めていく必要がある。 | 事務局参加人数内訳:所長、次長、地域振興班2人、集落づくり推進員 | 28,400 | 13,200 | 3,000 | 0 | 14,400 | 13,200 | 3,000 | 0 | 0 | 8,000 | 0 | ・委員費用弁償:(1,200円×9人)+(2,400円×1人)=13,200円 | |

| | 目的 | 研修候補地 |
|---|--|-----------------------------|
| 1 | H29の視察希望にもあった少子化対策、婚活事業について、地域活動支援事業で婚活支援事業を行った三和区の「地域を大切にする会」、H30も婚活イベントを行った板倉区の「光ヶ原高原賑わい創出実行委員会(糸しんの里観光公社)」から実施状況や課題等について説明を受ける。 | 板倉区、三和区 |
| 2 | H29の視察希望にもあった定住促進対策について、平成26年度から助成事業を行っている十日町市役所から、実施状況や定住後の課題等について説明を受ける。 | 十日町市役所 総務部 企画政策課 移住定住推進係 |
| 3 | 県の少子化対策モデル事業で、地域で取り組む子育て支援型事業に取り組んでいるNPO法人マミーズネットから、事業の概要や課題等について説明を受ける。 | 合併前上越市 |
| 4 | 柿崎区がH29に視察した、空き家の活用や移住定住の取り組みを行う富山県射水市の地域交流センター企画富山事務所から説明を受ける。 | 富山県射水市 (視察研修手数料、高速道路使用料) |
| 5 | 燃やせるごみの分別方法の一部が変更されることから、どのような施設になったのか、焼却施設が新しくなってどのような問題が発生しているかなどを学ぶ。 | クリーンセンター 生活環境課 |
| 6 | 地域活動支援事業の検討・検証を行ったことから、他地区の興味深い支援事業の実施状況を視察する。(委員から候補を選定してもらう必要あり) | 未定 |

【参考】名立区地域協議会のこれまでの視察研修先

- H29 大島区
- H28 糸魚川市
- H27 長岡市山古志
- H26 津南町
- H25 安塚区
- H24 未実施
- H23 中郷区、新井市
- H22 板倉区

平成 30 年度大島区地域協議会視察研修計画

【目的】

全国的に「少子高齢化・過疎化」が問題となっている中、中山間地域においては様々な課題が顕在化しており、特に、地域の活性化に向けた取り組みや地域住民の意識醸成が必要となっている。

本視察研修では、「不動森あげ米かい」での取り組みを学び、今後の地域協議会での審議や議論を深めるために見聞を広めるとともに、先進地事例として、地域住民へ情報を提供していく。

【日時】 平成 30 年 9 月 10 日（月）

【視察先】 不動森あげ米かい

不動地域生涯学習センター（名立区瀬戸 722）TEL：025-538-2301

〔概要〕

不動地区は名立区の最南端に位置し、3 集落 96 世帯、人口 335 人の集落で冬には 3m ほどの雪が積もる。

平成 14 年度、25 人のメンバーが集まり「不動森あげ米かい」を立ち上げる。地域外の方との人的交流と地域特産品の販売などの物的交流を促進し地域の活性化を目指す活動を始めて 15 年経過。

農業体験事業や他地域との交流事業の開催、自然環境の保全、地域環境の美化などの不動の里山保全、要援護世帯等の除雪支援など、年間を通じて多岐にわたる活動を実施している。

【日程（予定）】

12：30 大島区総合事務所 出発

14：00 不動森あげ米かい 着

不動地域生涯学習センターにて当該団体の取組について座学

ひまわり農園、蛍のビオトープにて現地見学

16：00 不動森あげ米かい 発

17：30 大島区総合事務所 着

【懇親会】視察研修終了後

会場 とくっと

時間 18 時 00 分から（予定）

会費 5,000 円

当日、懇親会費を徴収させていただきます。

【参加者（予定）】 大島区地域協議会委員 12 人 事務局・随員職員 6 人

(仮称) 名立区新保育園用地造成工事等について

- 1 施工予定期間 平成30年8月20日(月)～平成30年11月3日(土・祝日)
- 2 施工場所 名立大町地内(旧名立北地域生涯学習センター等跡地)
- 3 工事概要 下図のとおり
- 4 作業時間 午前8時から午後5時
- 5 交通規制

用地造成工事等により、園舎建設予定地前道路を次のとおり通行止めとします。

接続ます新設工事：平成30年8月27日～平成30年8月31日

体育館の下水道ます接続工事実施中のため、通行不能となります。

路盤改良拡幅工事：平成30年10月1日～平成30年11月3日

園舎建設予定地前道路の改良・拡幅工事実施中のため通行不能となります。

路盤改良拡幅工事期間後：平成30年11月4日～平成31年12月(予定)

路盤改良拡幅工事終了後は、未舗装のため路盤と側溝に段差が生じることから、平成31年12月までの予定で一般車両は原則通行止めとします。

体育館利用者のため体育館玄関前等の利用及び緊急時のみ車両通行可能にします。

付近を通行するときは、現場誘導員や交通案内看板等の指示に従ってください。

